

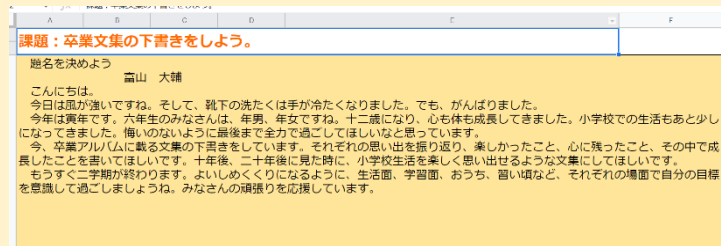
1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立連島南小学校	実践者名	富山 大輔
教科	総合的な学習の時間	学年	第6学年
活用内容	卒業文集の下書きをする	実践日	令和4年12月
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	「未来に向かって」卒業文集を作ろう		

活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

(1) 下書きをする

Google スプレッドシート「縦書き原稿用紙作成シート」*を活用し、シートのセルに文章を記入する。改行したい時や、1マス空けたいときは、セルの中で操作をしておく。



(2) 「原稿用紙」シートで確認する

「入力用紙」シートに入力したものは、「原稿用紙」シートにデータが反映され、下のように表示されるように設定。それを見て、直すところを確認する。

(3) 印刷して確かめる

教師は、児童が書いたものを印刷して確認をした。直してほしいところをペンで記入し、次の時間に児童に渡した。児童は、それを見ながら直していった。下書きができたものを、家庭に持ち帰り保護者に確認をしていた。



(4) 手書きで清書をする

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
文章を作成することの苦手な児童も、積極的に取り組むことができた。タイピングによる文章作成は、書き直しのハードルが下がり、推敲の質も量も高まり、より良い文章を作成することができた。	児童からは「手書きで下書きをするよりも取り組みやすい。」「直しがあっても簡単にできる。」という反応があった。 保護者からは、パソコンで下書きをすることで効率的な文集作りができることに好意的な意見が多かった。

Googleスプレッドシート「縦書き原稿用紙作成シート」* について

HP「学校教育情報処理研究会 (<https://seipsg.main.jp/>)」内にて無償公開されており、当該URL (<https://seipsg.main.jp/news/archives/55>) からコピーすることで、だれでも活用することができる。